

News Release

平成 18 年 4 月 11 日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社

代表取締役社長 山口浩行

(コード番号：3390)

問合せ先 取締役管理部長 大菅伸弘

電話番号 03-3568-1305

ユニバーサルソリューションシステムズ

シャープ製レストラン向けハンディ端末機を介護施設向けソリューションで実用化

～ 介護現場での操作性・実用性が飛躍的に向上 ～

このたび、ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社（ジャスダック 3390、本社：東京都港区、代表取締役社長：山口浩行、以下、USS）は、シャープ製レストラン向けハンディ端末機を介護施設向けソリューションで実用化いたしました。



■実用化の背景 ～ 介護事務負担軽減ニーズの高まり ～

高齢化の進行に伴い介護サービスを受けることができる要介護認定者数は既に四百万人を超え、介護保険制度がスタートした 2000 年度からみると 5 年間で 1.6 倍にも急増しています。そのため介護現場においては介護日誌の入力やレセプト計算などの事務作業負担が大幅に増加し、それらをできる限り軽減して作業効率を高め、本来の介護業務に専念したいという事務効率化ソリューションへのニーズが非常に高まっています。

■ レストラン向けハンディ端末機を介護現場に活用した理由 ～ 操作性・防滴・落下性能 ～

U S Sは外食産業様向けソリューションの提供を通じて、これまで多くの経験やノウハウを蓄積してまいりました。そのソリューションの中で外食の最前線であるレストランへは、操作や手続きを簡素化し、かつ壊れにくい、優れた実用性を持つレストラン向けハンディ端末機をご提供してまいりました。

前述の通り、介護現場では事務効率化のニーズが非常に高く、介護事業者様の声を聞けば聞くほど、U S Sがレストラン向けのソリューションの中でご提供してきたレストラン向けハンディ端末機が非常に有効に活用できることが明らかになってきました。

このたび介護施設向けに実用化したレストラン向けハンディ端末機の特徴は以下の3点です。

1. 容易な操作性

従来から多くの介護現場においてもハンディ端末機は利用されてきましたが、それらは介護記録をスタイラスペン（注1）を用いて入力するものが主流となっています。しかしながらこのスタイラスペンを使った入力は、介護作業中に作業の手を止めて操作する必要があり、作業がしばしば途絶えてしまうことや、入力時間がかかってしまうなどの問題点を抱えており、結局、作業終了後にスタッフルームに戻ってから入力するなど、ハンディ端末機としての役割を十二分に発揮できていないのが実情です。

このたび介護施設向けに実用化したハンディ端末機は、U S Sが多くの外食産業の現場に導入してきたレストラン向けハンディ端末機の利点を介護現場に持ち込んだものであり、スタッフルームに戻ることなく介護現場において両手親指の操作でスムーズに、かつクイックに入力を完了させられる、非常に容易な操作性を備えたものとなっております。

2. 防滴

精密機器であるハンディ端末機は水に弱く、水周りの作業も多い介護現場では防滴機能が求められます。水周り作業が常である外食産業で利用されているハンディ端末機はそもそも防滴機能を備えており、介護現場においても優れた実用性を有しております。

3. 落下性能

介護作業中にハンディ端末機を落として故障させてしまうことが多々発生しています。レストラン向けハンディ端末機は地上1メートルからの落下にも耐えうる落下性能を有しており、この点でも介護施設現場での利用において優れた実用性を有しております。

U S Sは、これまであらゆる種類の外食業店舗へのソリューション提供を通じて培ってきたノウハウを活かして、介護事業者が介護現場で抱える問題点やニーズを徹底的に分析し、それらに対するソリューションの提供に注力してまいりました。このたび実用化いたしましたハンディ端末機のみならず、介護業界へのソリューション提案力で差別化を図るべく、引き続き徹底した顧客ソリューションモデルを追求してまいります。

なお、介護現場への正式なリリースは本年5月からを計画しております。

(注1)

PDAなどの携帯型情報端末で利用されているペン型の入力装置のこと。対応する機器の表示画面に直接触れる形で使用する。

本件に関するお問い合わせ先
ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
〒107-6017 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 17 階
広報窓口 TEL:03-3568-1381 FAX:03-3568-1339
E-mail:iradmin@u-s-systems.co.jp

以 上